

紋

別高校が開校 紋別北高は21年3月まで

紋別北高と紋別南高を統合再編した新・紋別高校の開校式が4月10日、同校体育館で開かれ、旧・紋別南高から転学した2・3年生78人と新入生233人、合計311人の生徒による紋別高校の歩みが始まりました。



紋別高校は普通科4学級、総合ビジネス科1学級、電子機械科1学級。平成20年度末までは旧紋別南高から引き継いだ家政科、機械科が残り、全体で5つの学科の生徒が学ぶことになります。

なお紋別北高も平成20年度末に最後の卒業生を送り出すため、平成21年度以降、市内の高校は紋別高校のみになります。

ま

ちなか住宅建設開始 6階建て23戸に37世帯が応募

中心市街地を活性化させようと紋別市が制度化した、まちなか公的賃貸住宅の第1号の建設が6月から港町4でスタートしました。鉄筋コンクリート6階建ての23戸。民間業者が建てて市が借り上げるというシステムです。建設するのは市内の民間業者・株式会社たかはし（高橋守代表取締役社長）。19年末に入居募集を行いました。19年末に入居募集を行いました。応募倍率1.6倍という人気ぶりでした。



民間業者が建てて市が借り上げるというシステムです。建設するのは市内の民間業者・株式会社たかはし（高橋守代表取締役社長）。19年末に入居募集を行いました。19年末に入居募集を行いました。応募倍率1.6倍という人気ぶりでした。

明

治大学が初参加 交流拡大プロジェクトが好調

首都圏などからのスポーツ合宿や移住者を招く交流拡大プロジェクトが大きく動き始めました。合宿誘致では城西大Bチームと拓殖大に加え、城西大Aチームと明治大が初めて紋別合宿を実施しました。

一方、紋別での生活を体験してもらう「おためし暮らし」には4月から9月までの半年間で8世帯14人が参加。いずれも紋別の涼しさと空気よさ、新鮮な魚介類などが人気でした。

**紋別市**

平成19年

10大ニュース

2008年

子←亥

2007年

津

波警報発令 18年11月に続き2回目

1月13日、千島列島近くの北西太平洋を震源とする地震があり、北海道太平洋沿岸とオホーツク海沿岸に津波警報が出されました。紋別でも高さ1メートルの津波が予想されたため、紋別市は災害対策本部を設置し、海岸沿いの住民を中心に4737人に避難勧告を出すなど緊張が走りました。

幸いにも目立った津波は観測されませんでした。18年11月15日夜の津波警報に続き、多くの市民を驚かせました。

**渚**

滑橋の架け替え始まる 21年中の供用開始を目指す



紋別市の北の玄関口とも言える渚滑橋（国道238号線）の架け替え工事が2月から始まりました。耐震強度向上のため新たに建設しているもので、路側帯を含めた車道の幅は現在の6メートルから8.5メートルへ、大幅に拡大されます。

現在の橋は大型車のすれ違いが難しく、対向車の通過を待ってから進入することも多いため、新橋は安全面と時間効率の面から多くの人たちに歓迎されるでしょう。

道 立病院事業改革プラン 公設民営案が公表される



北海道は平成20年度から5年間の道立病院のあり方について考えを示す北海道病院事業改革プラン(仮称)の素案を発表しました。紋別を含む道立7病院については、公設民営(いわゆる指定管理者制度)の導入を図ることを基本としていますが、紋別は広域医療を果たす病院として、地域の医療機関と連携を図りながら高度な2次医療機能の確保に努める、という方向性が示されています。いずれにしても、現行の「道直営」を見直す方針を示したものとはいえ、今後の行方が注目されています。

児 童・教職員に健康被害 小向小学校の新校舎で

小向小学校の新校舎で児童・教職員に健康被害が生じ、小向生活改善センターでの授業が始まって約10ヵ月。一部



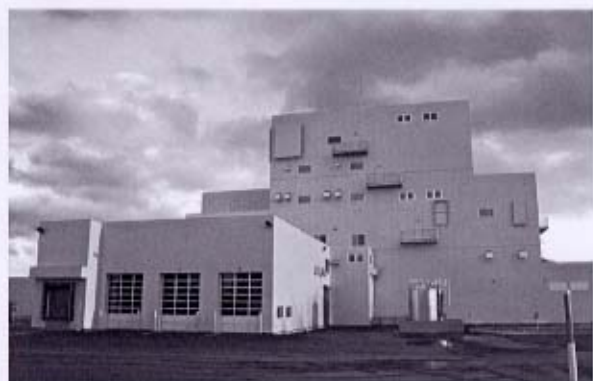
の児童・教職員がシックハウス症候群及びこれに準じた症状と診断されました。現在は、新校舎の改善に向けて、学校、保護者、地域住民、教育委員会が構成される対策委員会で、児童や教職員の体調や室内空気化学物質の測定結果等を見極めながら、新校舎の使用再開を検討していくことになりそうです。

旭 川紋別高規格道路 2車線・国道利用で整備へ



国土交通省の道路整備中期計画の素案が発表され、旭川紋別高規格道路「紋別・遠軽間」が、一部の見直しをしたうえで、整備が進められることになりました。見直しの内容は、車線数をこれまでの計画の4から2へ減らし、既存道路の一部を活用するものですが、高速ネットワークの一環として整備されることには変わりありません。市では今後、紋別側からの早期着工を要望する考えです。

よ つ葉に新施設完成 生乳処理能力は年27万tに



紋別市渚滑町の「よつ葉乳業北見工場」に、新たに年間12万tの生乳処理能力を持つ施設が新設され、合計27万tの加工を担う「オホーツク北見工場」と改称して稼働を始めました。新施設は、生クリーム、濃縮乳、脱脂粉乳、バターなどを生産するもので、鉄骨6階建て、延床面積5100平方メートル。総事業費は約39億円。雇用拡大など地域経済への波及効果も大きいことから、企業撤退や規模縮小が相次ぐ紋別において、非常に明るい話題になりました。

初 めての全国で「銀賞」 紋別小学校金管バンド



紋別小学校金管バンドは、11月17日に大阪城ホールで開催された第26回全日本小学校バンドフェスティバルに初参加し、見事銀賞を獲得しました。

大会には全国各地の予選を勝ち抜いた強豪が出演。紋別小は最後の35番目に出演し、多くのライバルたちが見守る中、ヤコブ・デ・ハーン作曲の「コンチェルト・ダ・モーレ」とジャック・モラリ作曲の「YMC A」の2曲で、ホールに重厚かつびったり息の揃ったサウンドを響かせました。